

# 第48回静岡県児童生徒木工工作コンクール

## 【趣意書】

\*テーマ：『 広がろう・つながろう 』

「木」は太古の昔より我々人間の生活と大きな関わりを持っています。

住宅資材や燃料としての用途だけでなく、数十年もの時間をかけて成長する中で二酸化炭素を吸収し、豊かな森林のある森からは美味しい水が育まれ、がっしりと樹木の根が張った森林は土砂災害を防止するなど様々な多面的な機能を発揮しています。また、森林は安らぎや癒しの効果を持つ空間でもあり、フィトンチッドと呼ばれる樹木からの揮発性物質は健康増進効果があると言われてしています。

昨今では世界規模でのSDGsの推進や地球温暖化対策や環境保護などの持続可能な社会の実現に向け、様々な業界がこれまで以上に「木」に注目しています。技術開発も進み公共建築や商業施設、オフィスビルなど従来使用されていなかった箇所にも木材が使い始められ、身近に目にする機会が増えてきました。

私たち日本木材青壮年団体連合会では、子供たちの創造力を伸ばし木をもっと身近なものにしてもらいたいとの思いから、「つたえる」「つくる」「ひろげる」「まなぶ」の4つのテーマを、次世代を担う子供たちをはじめ全ての人たちへ向けて掲げ、その活動の一つとして長年に渡って全国児童・生徒木工工作コンクールを開催しています。

今年度の開催テーマは『 広がろう・つながろう 』です。

このテーマには木材を使ったモノ作りを通じて、かけがえのない思い出を作ってほしい・自然素材の質感を感じてほしい・木を好きになってほしい・将来の職業のイメージを持ってほしいなど様々な思いが込められていますが、本コンクールをきっかけに木材活用の輪が広がり、家族や仲間との絆が深まり、人と人がつながる・想いがつながる・木材業界の発展につながるなど様々なつながりを期待しています。

結びに一人でも多くの子供たちが木に触れ、感受性や創造性に富んだ大人に成長してくれること、そして将来温もりがある社会を築いてくれることを願うとともに、家族・学校関係者・行政・木材関係者はもとより子供から大人まで多くの人を巻き込んで皆さんで「木」の可能性を考えてみたいと思います。

令和5年6月

- \* 主催 静岡県木材青壮年団体連合会  
<http://www.s-mokuren.com/seisounen/>
- \* 協力 静岡科学館 る・く・る
- \* 後援 (予定) 静岡県／静岡県教育委員会／静岡県教育研究会／  
静岡市／静岡市教育委員会／静岡県森林組合連合会／  
静岡県木材協同組合連合会／NHK静岡放送局／  
静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社／  
テレビ静岡／静岡朝日テレビ／静岡第一テレビ／  
K-MIX／FM Haro!／日本木材青壮年団体連合会

